

飛鳥時代のポイント

☆天皇（皇室）の名前と流れを覚えよう！

推古天皇（女帝）——— 天智天皇 ——— 天武天皇 ——— 持統天皇（女帝）
 ●聖徳太子（摂政） / （中大兄皇子） （大海人皇子） （天武天皇皇后）

百濟復興のため、朝鮮半島に出兵したが、白村江の戦いに敗れ、半島から手を引いた。その後天智天皇に即位。

天智天皇の死後、大友皇子（天皇の息子）と皇位をめぐり争い（672年壬申の乱）、大海人皇子（天智の弟）が勝って天武天皇となる。

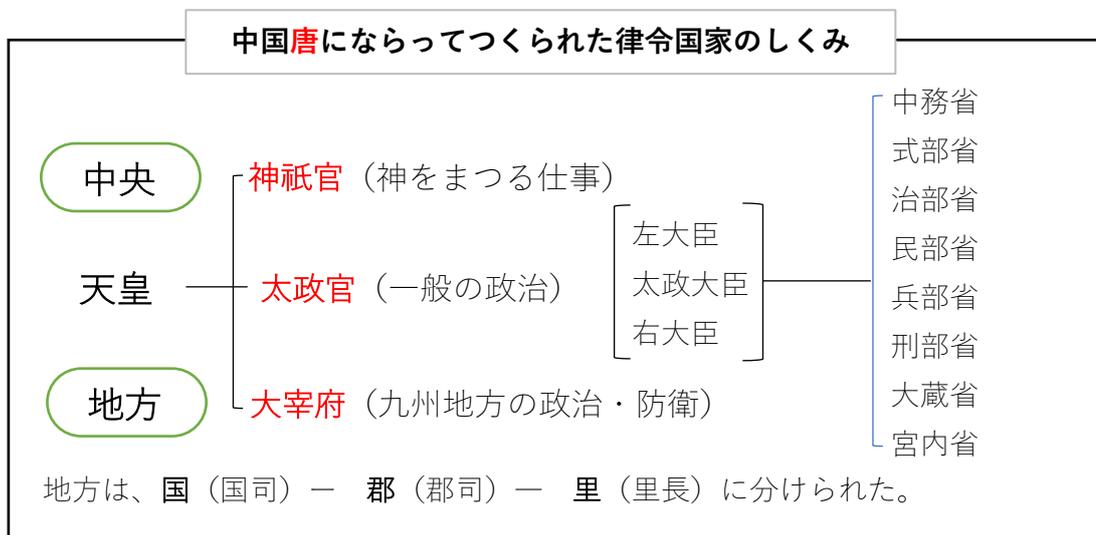
天武天皇の死後に天皇となり、藤原京を築く。

☆聖徳太子が行った、天皇中心の政治を理解しよう！！

推古天皇のもと、聖徳太子は**摂政**となり、蘇我馬子と協力し、政治を進める。

- ①**冠位十二階**の制度・・・豪族が重要な地位を独占することをやめ、個人の能力や功績に応じて人材を登用するために、12の位を設けた。
- ②**十七条の憲法**・・・仏教や儒教の考えに基づき、役人の心得を示した。
- ③**遣隋使**の派遣・・・**小野妹子**を隋につかわして、大陸の文化を取り入れた。

☆701年に制定された**大宝律令**について理解しよう！！



- ①太政官を中心に8つの省が政治を行った。この政府を**朝廷**という。地方はまつ。九州地方のとりまとめ、外交、防衛のために**大宰府**が置かれた。
- ②**班田収授法**・・・6年ごとに戸籍をつくり、6歳以上の男女に**口分田**を支給し、死後は返させる。**租・庸・調**などの税制も定められた。
- ③兵役・・・**防人**（九州北部）、**衛士**（都）など。

☆飛鳥文化について、資料や写真をみて名前を覚えよう！！

奈良時代のポイント

☆奈良時代の中心的天皇は、**聖武天皇**！覚える！

☆**710**年に奈良の**平城京**に都を移す！！奈良時代の生活の様子をつかむ！！

奈良の都、平城京は唐の都の**長安**にならってつくられた。

- ①貨幣が使われていた・・・天武天皇時代に富本銭という日本で最初の貨幣が作られていたが、奈良時代には**和同開珎**などの貨幣が使われた。
- ②農民の生活は重税と兵役を課せられて生活が苦しかった。土地を捨てて逃亡する者もいた。農民が土地を離れたため、荒地が増え、人口が増加したので**口分田が不足**した。

▼飛鳥時代から続く農民の負担

税	租 調 庸	収穫の約3%の稲 成人男子、地方の特産物を都まで運ぶ 成人男子、労役の代わりに布を都まで運ぶ
労役 兵役	衛士 防人 雑徭、平士	1年間都の警備 3年間九州北部の警備
	出拳	種もみを借り、秋に高い利子をつけて返す

- ③口分田の不足を補うために、開墾を奨励した。
 - ・ **三世一身法**（723年）・・・新しい開拓地は3代まで私有を認めた。
 - ・ **墾田永年私財法**（743年）・・・開墾した土地の永久私有を認めた。

公地・公民はくずれて貴族が大きな寺院が私有地を広げ、**荘園**に発展していった。

☆奈良時代の文化、**天平文化**をおさえよう！

天平文化の特徴・・・貴族中心の**仏教文化**が栄える。聖武天皇により、仏教が広まった。

- ①寺院の建立→国ごとに**国分寺・国分尼寺**をたて、都には**東大寺**をたてて大仏をつくった。
※東大寺の**正倉院**（写真をみて覚えよう！）
校倉造りで西アジアやインドの影響がみられる工芸品や書物などが保存された。
- ②行基・・・一般の人々に仏教を広め、用水路や橋をつくった。
- ③鑑真・・・唐の高僧で、失明しながらも日本に渡り、仏教の発展に努めた。
- ④書物・・・**古事記・日本書紀**（歴史書）、**風土記**（地理書）、**万葉集**（最古の和歌集）